

埼玉県学生就職支援サイト 「AI たまキャリア」について

埼玉県産業労働部就業支援課長 ^{ぬかりや} 忽滑谷 真理子

はじめに

大学生の就職状況は、一部の企業に採用を抑制する動きが出てきているものの「売り手市場」が続いています。埼玉労働局の調査によると、県内の大卒者の就職内定率は令和7年4月1日時点で96.3%（令和7年3月卒業予定者）となっており、比較的容易に内定を得やすい状況にあります。

一方、人手不足が深刻化する中、企業は早い時期に内定を出して人材確保をしようとするため、就職活動は早期化・長期化しています。その結果、自分のやりたいことを明確にできないまま就職活動を開始し、就職先を決めたことで、早期離職してしまう学生も存在します。そのような採用時のミスマッチが起きないようにするためには、キャリア観の醸成が課題の一つです。

また、企業においては人材確保が課題となっていますが、特に中小企業は学生の大企業志向が根強いことから、人材確保は大企業以上に深刻な課題といえます。

そこで、県では、学生が、やりたい仕事や興味のある業種・職種、就職する上で重視することなどを明確化し、なおかつ正規雇用など安定した雇用形態で働けるよう、また、県内中小企業に対しては、学生に魅力を知ってもらい、就職候補先として選んでもらえるよう支援を行っています。

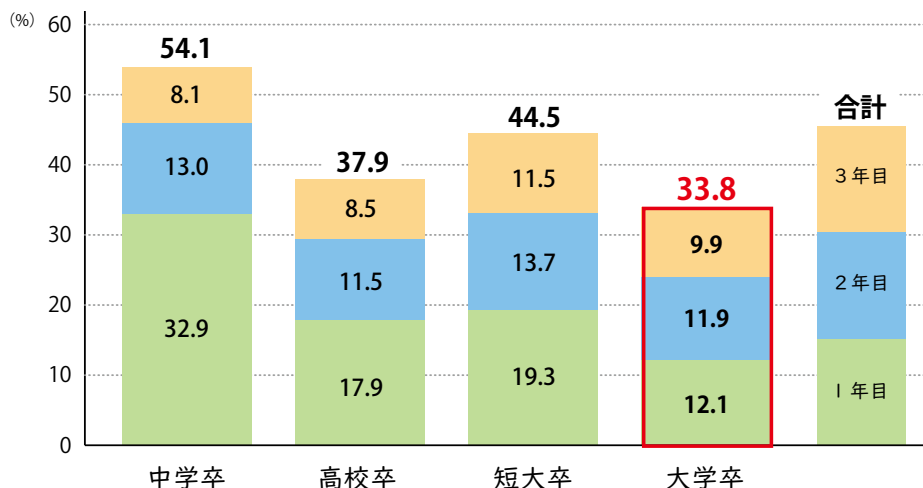
大学生の就職活動の状況と課題

就職白書2025（就職みらい研究所）によると、就職活動の開始時期については、卒業年次前年（大学3年）の9月までに開始した割合が61.6%と前年を4.7ポイント上回り、就職活動期間も8.45か月と前年より20日弱長くなっています。

また、4割から5割の学生は就職先の選択基準が曖昧なまま決定しており、「入社予定企業でどのくらい働きたいか」の期間が短くなる傾向があります。「安易に決定」した学生は、勤続期間の意向「3年未満」が14.2%で、「安易な決定でない」学生4.9%に対し、高くなっています。

実際に、入社後3年以内の離職率は全ての新規学

図表1：令和4年3月新規学卒就職者の離職率



厚生労働省「新規学卒就職者の離職状況（令和4年3月卒業生）」（令和7年10月発表）より



卒者において高いものの、大卒就職者でも 33.8%（厚生労働省の「新規学卒就職者の離職状況」）と、およそ 3 人に 1 人が離職しています。（図表 1）

県内中小企業の雇用状況と課題

埼玉県四半期経営動向調査（令和 7 年 4～6 月期）によると、正規社員の過不足感について「適正」と回答した企業の割合が 6 割を超える一方で、「不足」と回答した企業も 3 割超あります。（図表 2）

また、ぶぎん地域経済研究所が調査した「埼玉県内企業の令和 8 年新卒者採用状況」によると、「新卒を採用した」とする企業の割合は 52.1%（対前年△1.6 割）であり、新卒採用の充足度については、「採用計画どおり確保できた」が 24.5%（対前年△3.1 割）でした。企業の採用ニーズに対し、新卒者数が大幅に下回っていることが原因と考えられます。

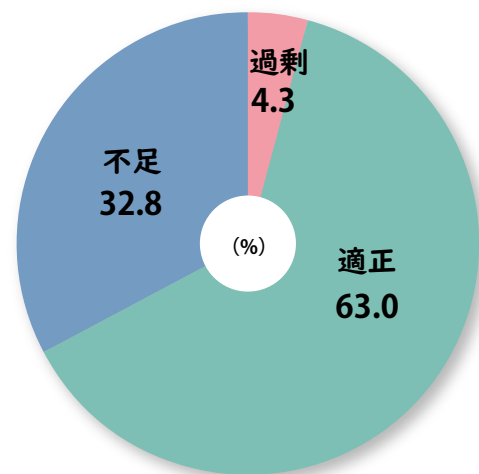
「就職白書 2025」（就職みらい研究所）によると、従業員 300 人未満の企業における新卒採用実施上の課題は、①「自社認知度」（52.3%）、②「応募者への動機づけ」（39.4%）、③「採用に関わる人員数」（37.5%）となっています。このことから、企業は採用において認知度を最も重要視していることがうかがわれます。

埼玉県学生就職支援サイト「AI^{あい}たまキャリア」

県では、令和 8 年 1 月に学生就職支援サイト「AI^{あい}たまキャリア」を公開しました。本サイトは、高校生や大学生などがスマートフォン等を利用して、AI 適職診断により、自分に適した業種や職種、県内企業を探すことができる就職支援サイトです。

「AI^{あい}たまキャリア」の特徴として、①県内の企業や事業所に特化していること、② AI による適職診断や企業検索機能を有していること、③お気に入り登録した企業のインターンシップ等の情報が SNS

図表 2：正規社員の過不足感



埼玉県四半期経営動向調査（令和 7 年 4～6 月期）より

プッシュ通知で届くこと、④登録は学生・企業ともに無料であること、の 4 点が挙げられます。

AI による適職診断により、学生は自分に適した業種や職種、企業を効率的に探すことができるだけでなく、自分の強みや気が付かなかった新たな適性なども発見することができます。また、SNS プッシュ通知（LINE）で届く企業情報を活用して会社説明会やインターンシップ等に参加することで、自分に適した企業を見つけることもできます。

民間サービスによる就職関連の情報が溢れている中、希望する就職先を探し当てるには大変な手間がかかります。埼玉県内での就職を希望する学生にとっては、県内企業に特化した本サイトの特徴を活かして就職先を探し絞り込んでいくことは、非常に有効であると考えます。

また、民間サービスにおいては企業の登録は有料であり、料金によって受けられるサービスに差があるため、資金力のある大企業に有利です。一方、相対的に採用コストがそれほどかけられない中小企業



埼玉県学生就職支援サイト「AI たまキャリア」トップページ

は学生の目に留まりにくい状況にあります。しかし、本サイトの登録は無料であり、全ての登録企業は公平に掲載・PRされることから若手の人材を採用したい県内企業に人材確保の機会を提供するものとなっています。

更に多くの学生と企業に登録・活用していただけるよう、引き続きサイトの充実を図っていきます。

「埼玉県若者向け総合就職支援サイト（仮称）」の構築

現在、AI たまキャリアやオープンカンパニー体験会などの若者向け就職支援施策は別々のサイトに掲載されていますが、令和8年度は新規事業として、若者向けの就職支援情報をワンストップで提供する「埼玉県若者向け総合就職支援サイト（仮称）」として、統合・構築します。また、サイトから直接インターンシップ等の申込ができる機能を付加することで、学生と県内企業をつなぐ仕組みを構築し、ひいては、県内企業への就職に結びつくよう取り組んでいきます。

インターンシップについては、令和5年度から取扱いが変わり、企業が一定の基準を満たすインター

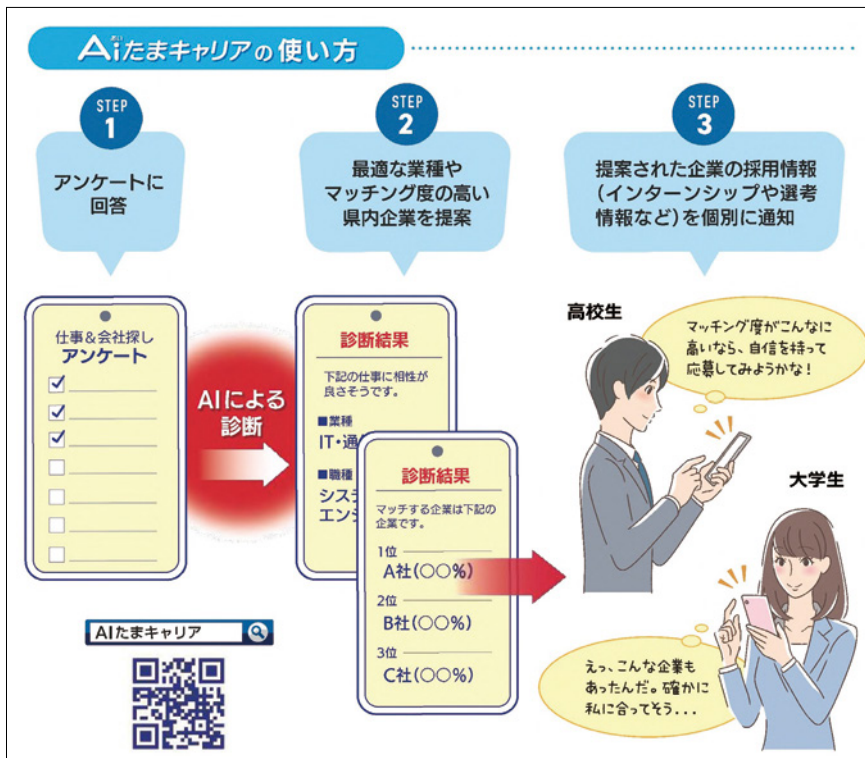
ンシップで取得した学生情報を広報活動や採用活動に使用することが可能となりました^{*1}。これにより、企業にとってインターンシップの重要性はますます高まっていますが、県内中小企業のインターンシップ実施状況は、人員やノウハウの不足などにより非常に低い割合にとどまっています^{*2}。そのため、インターンシップを実施したことがない企業を対象にセミナー等を開催し、インターンシップ実施も支援していきます。

*1 令和4年6月、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の合意による「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」（3省合意）を改正。

一定の基準とは

- ・就業体験要件（実施期間の半分を超える日数を就業体験に充当）
- ・指導要件（職場の社員が学生を指導し、学生にフィードバックを行う）
- ・実施期間要件（汎用能力活用型は5日間以上。専門活用型は2週間以上）
- ・実施時期要件（卒業・修了前年度以降の長期休暇期間中）
- ・情報開示要件（学生情報を活用する旨等を募集要項等に明示）

*2 令和6年度埼玉県就労実態調査「埼玉県事業に関するアンケート」



チラシ

終わりに

県では、AIたまキャリアをはじめ、学生と県内企業をつなぐための仕組みとして、県内企業を訪問するバスツアー「オープンカンパニー体験会」や、メタバース上で実施する企業説明会、企業と大学の就職支援担当者との交流会などを様々な施策を実施してまいります。是非、ご活用ください。



1日3社の県内企業を訪問するバスツアー「オープンカンパニー体験会」



学生と企業採用担当者がアバターで交流するメタバースでの企業説明会